








3 歳児クラス 1 2 月 第 3 回 「チキンスープ・ライスいり」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 保：「美味しいスープはいかがですか？」とコック帽を被り絵本を持って登場。 講：「コックさんありがとうございます」と受け取り「ふうふう」と温かいスープを飲む真似をしたり、「スープが大好きな男の子。1月から12月までどこでどうやって食べるのかな？」とお話への興味を抱かせてからお話をはじめる。 	教材	 
	<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) コック帽 	保育士の役割	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> ①「とろ〜り」「さらさら」「ぐつぐつ」いろいろな擬音を感じながらお話を楽しむ。 ②1月〜12月までの季節感を感じながら数や月への興味を広げる。 ③読み進める中でいつも最後に繰り返される「チキンスープ・ライスいり」のことばを子ども達と一緒に繰り返して言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コックさんになって絵本を持って登場。 	

がくしゅうタイム

活動①		季節	4つの季節に興味を持ち、それぞれの季節を表現したカードを選ぶことができる		   
設問	春夏秋冬それぞれの季節を表すものはどれですか？4つの絵のカードからみつけましょう。				
つなぎ	<ul style="list-style-type: none">・講：「春夏秋冬いつでも飲んでいたチキンスープ・ライス入り。先生も飲んでみたいな」・保：「今日もお届け物です」と絵カードの入った袋を届ける。				教材 季節カード4種 （両面テープ付き） 提示用季節カード4種 （両面テープ付き）
活動内容	<ul style="list-style-type: none">・講：「今日は何かな？」と期待を持たせて4種のカードを取り出し提示。「みんなの分もあるよ」と配布。子ども達と一緒にそれぞれのカードに表された絵（桜・海水浴・お月見・サンタクロース）の名称を子ども達と一緒に確認する。・子：4枚の絵カードを受け取り並べ、講師と一緒に確認する。・講：「春夏秋冬それぞれの季節を表すものを選んでくださいだって？この中で春の物どれ？」と4種の絵カードの中から選び、子ども達と一緒に4つの季節に分けていく。 ※それぞれ季節の特徴を気候（暑い・寒い）や身近な季節の行事なども織り交ぜながら確認していくと良い。・子：講師と一緒に春夏秋冬4つの季節の特徴を確認し、それぞれの季節を代表する絵カードを選んでいく。・講：季節に分けることができたカードを「春夏秋冬」の順番に並べ、この順番で一年の中で季節が巡り、繰り返されていくことを子ども達にも伝え確認していく。 ※カードそのままく活動②へ進む。				保育士の役割 <ul style="list-style-type: none">・絵カード提示・絵カード配布・子ども達と一緒に4つの季節について考える・理解できない子のフォロー
活動②		制作	季節カードと切って作った星を飾ってツリーを完成させることができる		
設問	季節のカードと星を飾ってクリスマスツリーを完成させましょう。				
つなぎ	<ul style="list-style-type: none">・講：「あれ？まだ何か入ってた？」と封筒からツリーカード提示。				教材 季節カード4種 （活動①で使用したもの） ツリーカード （両面テープ・リボン付き） 提示用季節カード4種 （活動①で使用したもの） 提示用ツリーカード （両面テープ・リボン付き） 星の元 1人1枚 ★はさみ おはじき 皿
活動内容	<ul style="list-style-type: none">・講：「これは何？クリスマスツリーだね…この○の中にカードを飾ってくださいだって、先生やってみるね」と見本提示。それぞれに書かれた文字を子ども達と確認し4つのカードを入れて完成させていく。・保：ツリーカード配布。・子：講師見本同様季節のカードをツリーカードの○に貼っていく。（シールのゴミは皿の中） ※文字が読めることが目的ではありません。「文字への興味を持つ」ことを目的として書いていますので、読めない子にはフォローをお願いします。・講：子ども達と4つの○にカードが貼れたことを確認し称賛。 「クリスマスのツリーの完成！でも何かまだ足りないね？」				

<ul style="list-style-type: none"> ・保：「いらっしやいませ！キラキラ星はいかがですか？」と星の元を持って登場。 ・講：「すみません。星ください」 ・保：「はい！！今日はおはじき5個と交換です」 <p>数チャレ・講：見本行動。おはじき多数入った皿から数えながら「5個」取り、星の元と交換する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保：「線の所をはさみで切って広げると星になりますよ」と説明。 ・講：星の元を受け取り「これが星になる？楽しみ！先生やってみるね」と見本行動。 <ol style="list-style-type: none"> ①星の元に線が書いてあることを確認。はさみで切っていく。 ※紙が重なって切りにくいことを子ども達に伝え「ちょきん」と力を入れて一回切りするところを見せる。 ②切った星の元を丁寧に開き、完成した星の形を確認する。 ※開く時の「ワクワク感」と開ききって完成した星を見た時の「ヤッター感」をリアルに伝えていく。 ③星をツリーの上の両面テープ部分に貼って完成させる。 「みんなもやってみようか！」とやる気を引き出す。 ・子：講師見本同様、おはじき「5個」数えて取り、星の元と交換。はさみで切って星型を作りツリーに貼って完成させる。 ・講：子ども達の状態を見て終了の合図。皆でツリーを見せ合い称賛。完成を喜び（できれば保育室の壁や意欲ロープなどに飾れると良い）クリスマスに期待を持って終了する。 	<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ツリーカード配布 ・ 文字の読めない子、理解できない子のフォロー ・ 星の元提示、おはじき5個と交換 ・ ☆の作り方説明 ・ はさみ配布 ・ 星作り必要に応じて子どものフォロー ・ 称賛
--	---

数チャレ	数	おはじきを数えて「5個」取ることができる	教材
設問	おはじき「5個」取って星の元と交換しましょう。		
内	※＜活動②＞の中で実施します		保育士の役割

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	クレヨンの気持ちを子ども達を感じ取れるように読むことが出来たか
活動① 比較	比較の言葉（長短、高低）をきちんと用いて、基底線を揃えることがポイントとなることを理解させたか
活動② 描く	集団で塗りえをするための約束を理解させた上で活動を行ったか
数チャレ	クラスの理解度に合わせて数の調整を行ったか

学習タイム♪

*** テーマ・制作（はさみの練習） ***

スープ作り

色画用紙やそれと同じくらいの厚さの紙（DM ハガキ等）を下の写真①のような2～3cm程の棒状に切って準備。
子ども達は写真②の様にはさみで切り、器に入れてスープ作りをしてみましょう。

※切れる子は棒状に切るところから自分でチャレンジしてみましょう。

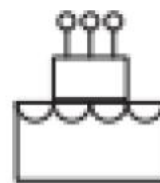


はさみ上手の近道はとにかくたくさん切る経験をすること。はさみの練習としてこれは一番の活動です。様々な厚さの紙でチャレンジしてみましょう。



今月のえかきリズム

*** ケーキ ***



えかきリズムの動画はこちら



学習タイムの動画はこちら

